

穴があったら入りたい。

恥ずかしい思いをしなくても、穴があれば冒険心にくすぐられて入りたくなります。



この写真は、島中集落の近くにあるウフヤグチ鍾乳洞です。この鍾乳洞は自然にできた穴で、中に入って観光ができます。

穴の入口の岩かげに、古いお墓が見つかりました。お骨といっしょに見つかったお椀から、このお墓は800年前に作られたことがわかりました。このように、かつて喜界島では、お墓を岩にできた穴や岩かげなどに作っていました。

太平洋戦争のとき、戦争のなりゆきが悪くなり、日本軍の兵隊が喜界島にとどまるようになると、兵隊はこの穴を陣地として使うようになりました。固い岩で囲まれたこの穴は、空からの攻撃を防ぐ場所に適していたようです。

ところで、この穴はどのようにしてできたのでしょうか？穴の周りは、すき間の多いサンゴの岩でできています。このすき間は、昔地下を流れる水の通り道になっていました。

またサンゴの岩は水に溶けやすく、水は岩のすき間を流れるうちに岩を溶かし大きな穴を作りました。これが鍾乳洞です。

喜界島の大地は、サンゴ礁が持ち上がってできた岩でできています。そのため、このような穴をあちらこちらで見ることができます。